

2012年版以来の大刷新! 『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2017』一般販売開始

株式会社協和企画（代表取締役社長：山田淳史、本社：東京都港区）は、11月22日より、『小児気管支喘息治療・管理ガイドライン 2017』の販売を開始しましたので、お知らせいたします。

【概要】

- ◎ **監修**：荒川浩一、足立雄一、海老澤元宏、藤澤隆夫
- ◎ **作成**：日本小児アレルギー学会
- ◎ **発行**：株式会社協和企画
- ◎ **定価**：本体 4,200 円 + 税
- ◎ **ISBN**：978-4-87794-192-5
- ◎ **体裁**：B5 判、本文 256 ページ、アジロ無線綴じ
- ◎ **改訂・変更のポイント**：

2017 年版は、**治療の一部において、Minds* の手法に則り、より広い意見の集約と科学的な論証が構築**されました。また、「長期管理」と「急性増悪（発作）」は、全体像や要点を把握しやすいように、**章立てが工夫されて、フローチャートなどの新規の図表が掲載**されています。2012 年版の内容がすべて見直され、6 年間の新しい知見が反映された 2017 年版は、**小児喘息の診断・治療・管理に携わるすべての実地医家の先生や医療従事者に読んでいただきたい一冊**です。

*：日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部による診療ガイドライン作成方法

◎ 特長

- ・ **Minds に準拠する初めての改訂版**。Clinical Question は、「長期管理」（第 7 章）と「急性増悪（発作）」（第 8 章）において、合計 8 問が作成されました。
- ・ **5 歳以下を一括りにして「乳幼児喘息」として、「診断的治療」による厳密な診断を推奨**しています。
- ・ **LABA は、原則として「基本治療」や「追加治療」から外して、コントロール状態悪化時に症状が安定するまでの「短期追加治療」に位置付けられました。**
- ・ **ICS/LABA 配合剤（SFC）は 6 歳以上の治療ステップ 3「基本治療」において中用量 ICS と低用量 SFC のいずれかを使用**することとされました。
- ・ **抗 IgE 抗体製剤オマリズマブが、治療ステップ 4「追加治療」に追加**されました。

LABA：長時間作用性吸入 β_2 刺激薬、ICS：吸入ステロイド薬、SFC：サルメテロールキシナホ酸塩・フルチカゾンプロピオン酸エステル配合剤

※注文は全国の医書取扱書店、また弊社ホームページにて受け付けております。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社協和企画 〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5
担当：小栗（おぐり） TEL:03-6838-9221 e-mail:m_oguri@kk-kyowa.co.jp